

## 社団法人廣東同郷会新春聯歡会開かる

\*\*\*\*\*

【横浜発】社団法人廣東同郷会（陸煥鑫会長）は、1月20日正午、横浜中華街聘珍樓本店大宴会場にて恒例の新春聯歡成人祝賀会並びに奨学金授与式を催した。

同店3・4階吹き抜けのパーティフロアを会場に、中国大使館領事部の曲力民一等書記官兼領事、蔣飛領事アタッシェを初め、香港特区政府駐東京經濟貿易代表部の陳詠欣広報室長、京浜地区の僑団、同郷会、中華学校の代表らが来賓として招かれ、会員とその家族らと合わせて総勢380名が一堂に会し2013年の新春を祝った。

当日の聯歡会は朱銘江副会長の司会で開会し、陸煥鑫会長はあいさつ中で、新しい年の世界の平和と安定を願った。また、現在同会が進めている法人の改組手続きの進捗状況について説明がなされた。

会長あいさつののち来賓が紹介され、続いて今年成人を迎えた同会会員子弟の謝文浩さん、妻嶋浩賢さん、氏家美帆さん、山口真希さん、甄華苑さん、曾綉霞さんに記念品が贈呈された。

また、今年度の奨学金は暨南大学医学部に在籍する新成人の謝文浩さんに贈られ、陸会長から認定証書と奨学金の30万円が渡された。

その後、広東要明鶴同郷会夏東開名誉会長の音頭で祝杯を挙げ、宴会は始まった。

参加者はこの日の為に特別に献立てされたふるさと広東の名菜に舌鼓を打った。特に冬場広東で好まれる羊肉を田舎風に煮込んだ料理「乳香喜氣洋洋煲(皮付き山羊の腐乳風味土鍋煮込み)」は年配会員を中心に好評を博した。

宴も中盤に差し掛かる頃、陸会長を先頭に同会正副会長が全ての宴卓を「敬酒」（＝祝杯を挙げあいさつ）して廻った。

終盤では、会員の馮国勝さんと梁啓成さんが飛び入りで歌を披露し、それにつられて陸会長も自慢ののどを唸らせた。

午後2時半、符順和副会長の閉会の辞で盛会裏にお開きとなった。

「社団法人廣東同郷会」では新たな法律の施行に伴い、昨春より正副会長らによる研究チームを立ち上げ、専門コンサルタントの助言を得ながら、「一般社団法人廣東同郷会」への移行を目指して来たが、本年1月11日付けで内閣府公益認定委員会から内閣総理大臣あてに答申書が上程され、このまま手続きが順調に推移すれば、新しい法人格を得て、今年4月1日に「社団法人」から「一般社団法人」へ生まれ変わる予定。